

広島県 U15 バスケットボール大会 コロナ対策について

1. 組織

(1) 「感染症対策責任者」を置く。(井村智一氏)

2. 注意喚起・奨励啓発

(1) 大会参加者(選手・指導者・応援者・審判員など)に手洗いの推奨を徹底し、啓発を行う(掲示物、館内放送)

→ 手洗いのためのハンドソープは、本部で用意する。

(2) 大会参加者(選手・指導者・応援者・審判員など)にマスク着用を徹底する。

3. 施設(会場)・用具

(1) 更衣場所を工夫し、密にならないよう対策をすること。

(2) TO 機器は、試合ごとにアルコール消毒を行うこと。

(3) ベンチの席は、しっかりと間隔を開ける等の配慮を行う。

4. チーム関係者(指導者・選手)

(1) 試合当日、「健康チェックシート」(別紙)に、選手個人が書いてきて、各指導者に提出、その後、各指導者は井村氏へ提出、その後3か月保管する。

(2) 消毒液、雑巾(ベンチと控室や控え席を消毒液で拭くため)、ビニール手袋、ゴミ袋については、大会本部で用意する。

(3) 選手は、自分専用のタオルと飲み物を持参し、他人と共用したりしないこと。

(4) ベンチでは、集団での応援(歌や集団で声を出しての応援)はしないこと。

(5) コートに出る選手は、コートに出る前に、自分のマスクが他の人のものに接触しないように、自分のタオルに挟んで、ベンチに置いておくこと、あるいはマスクを入れる袋等を持参し、その中に入れておくこと。

(6) タイムアウトでベンチに戻った選手は、間隔を取るために椅子を2つ以上空けて座り、マスクをせずに休憩、指示を聞いてもよい。(その際、コートに出ていた選手以外は立ち上がり、ベンチの椅子を空けること)

(7) 更衣については、なるべく更衣の必要がないよう、心がけること。

(8) 更衣室の使用が終わった際には、チームで責任をもって消毒液で消毒してから帰ること。

(9) 会場への移動については、各チームで分散集合、分散解散等を行う等、公共交通機関が密にならないような配慮を行う。

(10) 会場では、選手は競技中やアップのとき以外は、基本的にマスクを常時、着用する。

(11) ベンチの選手、コーチは、基本的にマスクを常時、着用するが、競技している選手はその限りではない。ただし、競技中も、マスクの着用を希望する選手については、マスクの着用を許可する。

(12) 試合終了後、交代席を含むチームベンチの椅子、TO 機器を、会場の全役員で協力して、消毒液で消毒すること。

(13) 密集を避けるため、ベンチの消毒が終わり、指導者からの指示があるまでは、次試合のチームはフロアに入らないこと（試合間の時間は十分にとる）

5. 審判・TO オフィシャルズ

(1) 審判もマスクを着用する。マスクをしたまま激しく運動すると、熱中症の危険性が高まるため、審判は3人制、電子ホイッスルの使用、レフェリーカッターやスラックス等の審判着の着用はなしでも可とする。

→電子ホイッスルについては、大会本部で用意する。

(2) TO 生徒、モップの生徒もマスクを着用する。

6. 応援者

(1) 応援者（保護者）もマスクを着用する。

(2) 応援者は、しっかり間隔をとって座ること。

(3) 応援者の検温、体調等を用紙に記入することは、行わない。

7. その他

(1) 予備のマスク、ゴム手袋、ごみ袋、アルコール消毒液、ハンドソープ、非接触式検温計等を会場に準備する。

(2) 手指消毒用アルコール、施設・器具消毒用アルコールを準備する。

(3) 新型コロナウイルスの状況によっては、大会が中止となる場合がある。

(4) 開会式、閉会式は行わない。